

◎現在、下表のサービスキャンペーンが進められておりますのでお知らせします。

サービスキャンペーンのお知らせ ☆赤字箇所が最新の更新内容になります。

サービスキャンペーンのお知らせ ☆赤字箇所が最新の更新内容になります。

下記車両については、記載の不具合内容のサービスキャンペーンが実施されています。
※詳しい内容及び対象範囲の車台番号についてはメーカーのホームページをご確認ください。

会社名	開始日	保証延長の内容	修理内容	通称名	車両型式	備考
ホンダ	H26.12.22	平成24年7月26日付けサービスキャンペーンの改善内容において、販売店での交換作業のばらつきを考慮した検証が不十分であったため、触媒コンバーターとコンバーターステータ締結座面の隙間が大きい状態で締付けると、エンジン振動により、コンバーターステータ及びコンバーターサブステータに過大な負荷がかかることで、当該ステータに亀裂が生じるものがあります。そのため、そのまま使用を続けると、破断して異音が発生し、最悪の場合、触媒コンバーターフランジに亀裂が生じて排気音が僅かに大きくなるおそれがあります。	Honda販売店で全車両のコンバーターステータ式(コンバーターブラケット、コンバーターステータサブステータ)を対策品と交換するとともに、触媒コンバーターを点検し、亀裂があるものは新品と交換させていただきます。	ステップワゴン	RK1, RK2, RK3, RK4, RK5, RK6, RK7	
	H26.7.31	中低速域から停止直前までブレーキを踏まずに減速するような運転を繰り返すと、吸気管及び燃焼室内の負圧が高い状態で保持されるため、エンジンオイルが燃焼室まで吸い上げられて燃焼し、発生したデブリがオイルリング周辺に堆積して、オイル戻し穴が詰まりシール不良となり、オイル消費量が増えることがあります。そのため、エンジンオイル量の日常点検と補充を行わないと、次回時にオイル警告灯の点灯や異音が発生し、そのままの状態で使用を続けた場合、エンジン内部が損傷するおそれがあります。	Honda販売店で全車両のエンジンを点検し、異音がある場合、エンジンブロックASSYを対策品と交換させていただきます。異音がない場合、オイルを規定量まで補充させていただきます。また、使用者へ当該オイル量の日常点検について注意喚起させていただきます。	「ステップワゴン」 「ステップワゴンスーパー」 「CR-V」 「アコード」 「アコードツアラー」	RK1, RK2, RK3, RK4 RK5, RK6, RK7 RM1 CU1 CW1	
	H26.7.10	1)エンジン制御コンピュータ(ECU)のプログラムが不適切なため、 ①坂道での発進停止の繰り返し、渋滞での低速走行、更にオートブレーキホールド(ABH)機能を搭載している車両はABHを使用した状態での停車を繰り返すとクラッチ温度が上昇し、実クラッチ摩擦特性と推定クラッチ摩擦特性とに差が生じるものがあります。そのため、クラッチ滑り量が減少して加速時に車両が前後振動し、インフォメーションディスプレイに「トランスミッション高温(第一警告灯)」の警告が表示された状態でそのまま走行を続けると、駆動力を制限するため、エンジンの吹け上がりや坂道が登りづらくなり、最悪の場合、前進レンジでは「トランスミッション高温(第二警告灯)」の警告が表示されるとともに前進できなくなり、後退レンジでは後退できなくなるおそれがあります。 ②エンジン走行モードで坂道を2速ギヤで低速走行し、転舵操作を行った際に1速にシフトダウンし、その後の緩やかな坂道で停車してから発進すると1速が継続されることから、エンジン回転が高くなり加速感が損なわれるおそれがあります。 ③エンジン走行モードにて急勾配の坂道で停車後直ぐに発進する際に、ブレーキペダルから足を離しアクセルペダルを踏込んでも、車両が僅かに後退するおそれがあります。 ④エンジン走行モードでDレンジからRレンジにシフトした際、シフト操作から駆動の発生までに時間を要することから発進が僅かに遅れるおそれがあります。 ⑤エンジン走行モードにて中速クルーズ走行中、モータ走行モードに切り替え変速する際に、モータ駆動力を伝達しなくなることから、僅かな減速感を感じるおそれがあります。	Honda販売店で、全対象車両において以下の対策を実施させていただきます。 1)ー① 全車両、ECUを対策プログラムに書き換えます。また、プログラムの書き換えに伴い、警告灯の表示に対する車両の取扱いを変更することから、取扱説明書を変更し、交換します。 1)ー② 1)ー③ 1)ー⑤ 全車両、ECUのプログラムを対策プログラムに書き換えます。 1)ー④ 全車両、ECU及びモータECUのプログラムを対策プログラムに書き換えます。	フィット VEZEL	GP5, GP6, RU3, RU4	

	2)トランスミッションドライバユニット(TDU)のプログラムが不適切なため、TDUとエンジン制御コンピュータ(ECU)との通信が一瞬切れた際にクラッチの締結を一瞬開放して動力の伝達ができなくなり、発進の遅れまたは加速不良となるおそれがあります。 ①自動パーキング選択制御機能において、作動条件が整っていない状態で走行後停車し、当該機能が作動していないにも関わらず、それに気付かずブレーキを離し降車すると、意図せず車両が動き出すおそれがあります。 ②パーキングスイッチを押した後や自動パーキング選択制御機能が作動している状態で、誤ってブレーキペダルを踏みながらシフトレバーをPポジション以外にシフトすると、意図せず車両が動き出すおそれがあります。	2)全車両、TDU及びECUのプログラムを対策プログラムに書き換えます。 Honda販売店で、全車両、ECUとメータECUプログラムを書き換えし、下記機能を追加させて頂きます。 ・自動パーキング選択制御作動中に、Pポジション以外へシフトした際には、ブレーキペダルから足を離すと自動でパーキングに入り、インフォメーションディスプレイに警告を表示させます。 ・駐停車中に、シートベルトを着せずにPポジション以外へシフトし、ブレーキペダルから足を離した際には、インフォメーションディスプレイに警告を表示させます。 また、当該ページの記載内容を変更した取扱説明書と交換するとともに、使用者に駐停車操作における注意点を周知します。			
H26.5.30	車両挙動安定化制御システム(VSA)の油圧制御装置(モジュレータ)において、高油圧を発生させるモータのコンミテーター材質とブラシ材質の組み合わせが不適切なため、ブラシに亀裂が生じ寸法が増大するものがあります。そのため、ブラシがブラシホルダに固着し、モータが作動しなくなり、VSA及びアンチロックブレーキシステム(ABS)が機能停止し警告灯が点灯します。また、車速車間制御クルーズコントロール(IHCC)、追突被害軽減ブレーキ(CMBS)装備車両はIHCC及びCMBSも機能停止し警告灯が点灯します。 ※本件は、平成24年6月7日付けでサービスキャンペーン通知を行ったものですが、当時対象外としていたものの中から不具合が発生したため、新たに通知するものです。	Honda販売店で、全対象車両におけるVSAの油圧制御装置(モジュレータ)のロット番号を点検し、該当する場合は対策品と交換させていただきます。	クロスロード	RT2, RT4	
H26.4.18	2トーンカラースタイルタイプのカスタムブラックシート装着車において、前後席シート表皮にアレルクリーン加工が施されていないシートが装着されています。	Honda販売店で、全対象車両のシートを正規仕様品と交換させていただきます。	N-BOX N-BOX+	JF1,JF2	

H26.4.18	アブソルートタイプのサイドカーテンエアバッグ非装着車において、2列目／3列目シート用エアコンアウトレットにクロームメッキ加工されていないアウトレットリングが装備されています。	Honda販売店で、全対象車両のエアコンアウトレットを正規仕様品と交換させていただきます。	オデッセイ	RC1	
H26.2.10	7速DCT型自動変速機を搭載した車両において、 1)トランスミッションドライバユニット(TDU)のプログラムが不適切なため、車両起動時にギヤアクチュエータ位置の初期化が正しく行われないことがあります。そのため、トランスミッション警告灯が点滅し、フェールセーフが働き、Pレンジから他のレンジにシフトしてもNレンジまたはPレンジとなるおそれがあります。尚、Dレンジにシフトすると発進は可能です。 2)ハイドロスタティッククラッチアクチュエータ(HCA)のプログラムが不適切なため、HCAが故障しても検知ができないことがあります。そのため、奇数段変速または偶数段変速のみでの走行となるおそれがあります。 3)モータ制御コンピュータ(モータECU)のプログラムが不適切なため、車両起動直後にモータECUがモータインバータからのデータを受信できないことから通信エラーとなり、メータディスプレイに「システム点検」の表示がされるとともに、エンジンでの走行となるおそれがあります。 4)エンジン制御ユニット(ECU)のプログラムが不適切なため、 ①EV走行モードからの緩やかな登坂路発進時、ブレーキペダルを離した際、モータ駆動力が弱いことから、タイヤに伝わるまでの間に車両が僅かに後退するおそれがあります。 ②登坂路発進や降坂路走行、並びに低速からの再加速時、自動変速機が低速ギヤに変速した際に車速に対してエンジン回転数が高くなるおそれがあります。 ③長い下り坂をアクセルペダルを踏込まず走行する際、スロットルバルブの目標開度と実際のバルブ開度に差が生じることがあります。そのため、スロットルバルブ制御が正しく行われず、スロットルバルブが故障したとECUが検知し、エンジン警告灯が点灯するとともに、アクセルペダルを踏込んでも加速不良となるおそれがあります。 ④エンジン走行モードでの定速走行や減速状態からの加速時、動力伝達クラッチの接続が遅いことから、エンジン回転が高くなり加速感が損なわれるおそれがあります。 または、EV走行モードでの低速走行からの加速時、駆動力を補うためエンジンが始動した際にシフトダウンさせる設定であったため、エンジン回転が高くなり加速感が損なわれるおそれがあります。 ⑤シフト操作時のNレンジ判定時間が短いことから、シフトレバーをRレンジまたはDレンジへシフトした後、ホームポジションへゆっくり戻すと、Nレンジとなるおそれがあります。	Honda販売店で、以下の対策を無償で実施させていただきます。 1)全車両、トランスミッションドライバユニット(TDU)のプログラムを対策プログラムに修正させていただきます。 2)全車両、ハイドロスタティッククラッチアクチュエータ(HCA)及びトランスミッションドライバユニット(TDU)のプログラムを対策プログラムに修正させていただきます。 3)全車両、モータ制御コンピュータ(モータECU)のプログラムを対策プログラムに修正させていただきます。 4)全車両、エンジン制御ユニット(ECU)のプログラムを対策プログラムに修正させていただきます。	フィット ハイブリッド	GP5, GP6	
			ヴェゼル ハイブリッド	RU3, RU4	

	H25.12.21	1)エンジン制御ユニット(ECU)のプログラムが不適切なため、①～④の事象が発生するおそれがあります。 ①EV走行モードでの発進の際、ミッションでの自動変速時にギヤのドグとスリーブが噛み合わないことがあります。そのため、発進時のインギヤ動作に遅れが生じ、トランスミッション警告灯(シフトインジケータ)が全て点灯するとともに、発進に時間を要するおそれがあります。 ②登坂路のEV走行でバッテリーの充電量が低下する等の条件で、アイドルストップからの復帰時に坂道発進補助システムが働かないことがあります。そのため、坂道発進時に後退するおそれがあります。 ③変速操作後の発進時にクラッチ温度が高いと、クラッチ締結時のトルクが大きくなる場合があります。そのため、発進時に車体が前後に揺動するおそれがあります。 ④停車時、DレンジからP、Nに操作した際にギヤのドグとスリーブが噛み合わないことがあります。そのため、トランスミッション警告灯が点滅し、メータディスプレイの点検表示が点灯するおそれがあります。 2)トランスミッションドライバユニット(TDU)のプログラムが不適切なため、停車中の手動変速操作時にギヤのドグとスリーブが噛み合っていないくても、変速完了と誤判定することがあります。そのため、発進時のインギヤ動作に遅れが生じ、トランスミッション警告灯(シフトインジケータ)が全て点	Honda販売店で、以下の対策を実施させていただきます。 1)全車両、エンジン制御ユニット(ECU)を対策プログラムに書換えさせていただきます。 2)全車両、トランスミッションドライバユニット(TDU)を対策プログラムに書換えさせていただきます。	フィット ハイブリッド	GP5	
ホン ダ	H25.6.14	サーモスタットのサーモケースにヒータ用ジョイントパイプを圧入する際の基準点がずれたため、ジョイントパイプが傾いて圧入されたものがあります。そのため、冷却水温度が上昇すると、ジョイントパイプ圧入箇所から冷却水が徐々に漏れ出し、そのまま使用を続けると、高水温警告灯が点滅するおそれがあります。	Honda販売店で、全車両、サーモケースを点検し、冷却水が漏れているものは、サーモケースを良品と交換させていただきます。	N BOX N BOX Custom N BOX + N BOX + Custom	JF1, JF2	
				N-ONE	JG1, JG2	
	H24.11.9	補修用部品として供給したハイブリッド車の補助動力モータ用バッテリーにおいて、「高電圧コーションラベル」及び「バッテリーコーションラベル」が貼付けられていませんでした。	Honda販売店で、全車両、IMAバッテリー上面を点検し、コーションラベルが貼り付けられていないものは、無償にて、対策品のコーションラベルをIMAバッテリー上面に貼付けさせていただきます。	シビック ハイブリッド	ES9	
				インサイト	ZE1	
	H24.11.9	原動機において、空燃比センサの加熱用ヒータ素子を制御するプログラムが不適切なため、低外気温下でエンジンを始動すると排出ガス中の水分が凝縮し、加熱されたヒータ素子に付着することがあります。 ヒータ素子に水分が付着し、素子が損傷すると車載式故障診断装置が働き、エンジン警告灯が点灯するおそれがあります。	Honda販売店で、全車両、無償にて、当該プログラムを対策プログラムに書換えさせていただきます。	ライフ	JB5, JB6	
				ゼスト	JE1, JE2	

H24.8.31	①フロントドア及びスライド式リヤドアにおいて、ルーフサブシール及びドアウェザーストリップの形状が不適切なため、ドアが閉まった状態でシールが経時変化しシール面が変形するものがあります。 そのため、防水性が不足して室内に水が浸入するおそれがあります。	①全車両、ルーフサブシール、ドアウェザーストリップ及びセンサーサブシールを対策品と交換させていただきます。	N BOX N BOX Custom	JF1, JF2	
	②車両挙動安定化制御システム(VSA)において、コントロールユニットのプログラムが不適切なため、ステアリングを最大転舵角付近まで転舵した状態でエンジンを始動すると車両挙動判定の基準値がずれることがあります。 そのため、発進後にエンジン始動時と同方向にステアリングを転舵すると、挙動制御が必要と判断してVSAが作動するおそれがあります。	②全車両、VSAコントロールユニットのプログラムを対策プログラムに書換えさせていただきます。			
	③補修用板金部品として供給したフロントバルクヘッドアッパーフレーム及びロアクロスメンバの溶接工程の設定が不適切なため、スポット溶接の不足したものが 있습니다。 そのため、走行中の振動等により鋼板同士が擦れて異音が発生し、錆びるおそれがあります。	③全車両、良品のアッパーフレーム及びロアクロスメンバを結合したフロントバルクヘッドCOMPと交換させていただきます。			
H24.7.27	排気管の触媒コンバータステーに過大な応力がかかり、エンジン振動でステーに亀裂が生じるものがあり、そのままの状態で使用が続けると、ステーが破断して異音が発生し、最悪の場合、触媒コンバータフランジに亀裂が生じて排気音が僅かに大きくなるおそれがあります。	Honda販売店で、全車両のコンバータステー一式(コンバータブラケット、コンバータステー、サブステー)を点検し、亀裂があるものは触媒コンバータ及びコンバータステー一式を無償にて新品と交換させていただきます。なお、亀裂がないものは、コンバータステー一式を無償にて新品と交換させていただきます。	ステップワゴン	RK1,RK2, RK3,RK4, RK5,RK6, RK7	
H24.6.8	車両挙動安定化制御システム(VSA)の油圧制御装置(モジュレータ)において、高油圧を発生させるモータのコンミテーター材質とブラシ材質の組み合わせが不適切なため、ブラシに亀裂が生じ寸法が増大するものがあります。そのため、ブラシがブラシホルダに固着し、モータが作動しなくなり、VSA及びアンチロックブレーキシステム(ABS)が機能停止し警告灯が点灯します。車速車間制御クルーズコントロール(IHCC)、追突被害軽減ブレーキ(CMBS)装備車両はIHCC及びCMBSも機能停止し警告灯が点灯します。	VSAの油圧制御装置(モジュレータ)のロット番号を点検し、該当する場合は対策品と交換します。	クロスロード	RT2, RT4	
H24.5.25	車両に付属する取扱説明書の「バッテリー容量／タイプ」欄への記載を誤ったため、バッテリー交換の際に誤解を与えるおそれがあります。	正しい取扱説明書と交換します。	ステップワゴン	RK1	
			ステップワゴン スパーダ	RK5	

H23.10.14	坂道発進補助システムのブレーキ液圧設定が不適切なため、登り坂での発進の際に駐車ブレーキを使わずにブレーキペダルから足を離すと、車両が僅かに後退するおそれがあります。	VSA-ECU内にある坂道発進補助システムのプログラムを対策プログラムに書換えます。	フィットシャトル	GP2	ハイブリッド車
H23.9.27	運転席側パワーウィンドウスイッチのスイッチユニットの構造が不適切なため、車内清掃用品等に含まれるシリコン成分がスイッチ接点部に付着した状態でのスイッチ操作を繰り返すと、接点の摩耗粉がスイッチの電源部とアース部の隙間に堆積して発熱し、スイッチユニットの樹脂材が炭化して電流がリークするものがあります。そのため、スイッチユニットの樹脂材が溶損し、回路が短絡してヒューズが切れ、または、スイッチ接点の位置がずれて回路が開閉できず、ドアガラスの昇降ができなくなるおそれがあります。	運転席側パワーウィンドウスイッチ一式を対策品と交換します。	フィット	GD1, GD2, GD3, GD4	
			フィットアリア	GD6, GD7, GD8, GD9	
H23.7.12	ジャッキ装備車両において、取付け作業工程の管理が不十分なため、ジャッキが取付けられていない車両があります。	ジャッキを取付けます。	ストリーム	RN6, RN7, RN8, RN9	
H22.11.5	テールゲートを保持するオープンスターを車体に取り付けるボルトの締付トルクが不足したため、オープンスターの反力で車体とボルト座面との間に隙間ができるものがあります。そのため、雨天や洗車時に隙間から室内に水が浸入して、荷室の床が濡れることがあります。	取付ボルトの締付トルクを点検し、不足している場合は正規トルクで締め付けます。また、フロアカーペットを点検し、濡れている場合は新品のフロアカーペットに交換します。	ステップワゴン	RK1, RK2, RK3, RK4	
			ステップワゴン スパーダ	RK5, RK6, RK7	
H22.7.23	ハイブリッド車の補助動力モーター用バッテリーの残電力量管理プログラムが不適切なため、渋滞等の低速走行時に加減速を繰り返すと、バッテリーの充電量が不足し、バッテリー内部で電極間が微小短絡を起こすものがあります。そのため、その走行状態を繰り返すとバッテリーが早期に劣化し、警告灯が点灯するおそれがあります。	補助動力モーター用バッテリー制御コンピューターとエンジン・ミッション制御コンピューターを対策プログラムに書き換えます。	シビック ハイブリッド	FD3	
H22.1.15	エンジンのピストンに小径のオイルリングを組み込んだものがあります。そのため、シリンダー壁面に付着したエンジンオイルが燃焼してオイル消費が増加するおそれがあります。	エンジンオイル量を点検し、残量が基準以下の場合は良品のオイルリングを組み込んだエンジンと交換します。	オデッセイ	RB3	
H21.11.20	オートマチックトランスミッションのトルクコンバーターのステーターにワンウェイクラッチを逆向きに組み付けたため、トルクの増幅ができず、発進時にもたついたり、燃料消費率が悪化したりします。	オートマチックトランスミッションのストール回転数を点検し、規定回転数以下のものは、トルクコンバーターとオートマチックトランスミッションを良品に交換します。	エリオン	RR3,RR4	
			インスパイア	UC1	